西入間管内 詐欺被害

令和６年詐欺被害額合計
約1億9,000万円

事例１ オレオレ詐欺

息子や孫を名乗る者から「今、病院にいて喉の手術をする、携帯を使えないので公衆電話からかけている」との電話があり、再び息子などを名乗る者から「病院で財布やカバンを失くした」「大切な会社の書類が入っており５００万円必要」と言われ、その後会社の上司を名乗る者に現金を騙し取られた事案。

事例２ ロマンス詐欺

ＳＮＳやマッチングアプリで知り合った（直接会ってはいない）人と暫くの間、メールのやりとりをした後、「絶対に儲かる」「●●さん（著名人）が紹介している投資」と簡単にお金を増やせると信じ込ませ、インターネットバンキングで新たな口座を作らせたうえ、投資目的で現金を騙し取る事案。

～国際電話番号による特殊詐欺が急増しています！～

+1 や **+44** などから始まる番号から着信があったら、電話に出ない、かけ直さないようご注意ください。海外との電話が不要な方は、無償で休止できます。

問国際電話不取扱受付センター　☎0120-210-364

事例３ 警察官騙り

警察官を名乗り「あなたの口座が暴力団の資金洗浄（マネーロンダリング）に使われている、このままでは、あなたは逮捕される」などと不安を煽り、その後、検察官や他県の警察などを名乗る電話で「あなたの口座の現金の流れを調べるため口座にある現金全てを指定した口座へ移してください。これであなたの無実が証明される」「振り込んだお金は調査後に戻します」と言い、被害者の口座から 400 万円を振り込ませ騙し取る事案。

事例４ 還付金詐欺

役場の職員を騙る男から「医療費の過払い金があることが分かりました。手続きの期日が過ぎている。ＡＴＭ機で証明書を出して、銀行で手続すれば還付金を受け取れる」と電話があり、別の男から「指示を聞いて間違えないでください。読み上げる数字は金額ではなく、受付番号です」などと指示され、ＡＴＭを操作した結果、犯人側の口座に約 49 万円を振り込んでしまった事案。

安全な地域は無い

昨年、西入間警察署管内で発生した詐欺被害の件数**48**件ありました。電話は全国どこからでも・誰にでもかけられるので、安全な地域というものはありません。かといって毎日警戒しているのも大変です。

留守電機能で詐欺予防

電話を媒体とする詐欺への対策の一つとして「留守番電話機能の活用」があります。

詐欺師は会話が録音されるのを嫌うので、かかってきた電話に出なければ、詐欺師があきらめる場合もあります。また、会話としてではなく、留守電の音声として話を聞くことで、落ち着いて話を整理することもできます。かかってきた電話には出ず、留守電を聞いてから折り返す。これを家族や友人同士で決めておくことは詐欺被害防止に有効です。

詐欺師に負けないために

冷静さを失わないで

「24時間以内」や、「翌日正午まで」など、相手に考える暇を与えない手口の詐欺も多いです。慌てて支持された通りに動いてしまっては詐欺師の思うツボです。このような通知が届いてもあわてないでください。緊急の時こそまずは落ち着いて内容を整理することが大切です。

お互いにしか分からない合い言葉を決めておきましょう。

近年は、名前や住所、生年月日などの個人情報を掴んだうえで騙そうとしてくる詐欺グループも多いです。名前や年齢ではなく、お互いにしかわからない合い言葉を決めましょう。合い言葉を決めておき、電話機の近くにメモを置いておくのも良い方法の一つです。

詐欺の対応は迅速に

相手の指示する口座にお金を振り込んでしまった場合、相手が口座からお金を引き出す前であれば被害額を取り戻すことができます。「おかしい」、「騙されたかな」と感じたら一人で悩まず、すぐに警察に連絡しましょう。

一度騙されるとその後も狙われる!?

詐欺にあった人に対して、警察官や弁護士のふりをした詐欺師が「騙し取られたお金を取り戻せますよ。」と近づいてくることもあります。一度騙された人はその後も狙われる可能性があるので注意が必要です。良い話を持って近づいてくる相手は、簡単に信用してはいけません。日ごろから信頼のできる友人や家族とのコミュニケーションを大切にして、いざという時に相談できる環境を作っておきましょう。

振り込め詐欺防止啓発活動を行いました。

昨年の 12 月に、西入間地区地域安全推進連絡協議会越生支部のみなさんが、歳末警戒活動を行いました。

この活動は、町内を巡回し、詐欺被害防止の声かけや啓発チラシの配布をしています。今後も定期的に活動し、地域の安全を守っていきます。

問総務課　地域支援・防災安全担当
☎内線 217